

Seamlessline LED照明器具

SA3-LED A

(100V, 50/60Hz共用)

取扱説明書

保存用

19年02月07



お買い上げありがとうございます。ご使用前に必ずお読みください。
取付工事には電気工事士の資格が必要です。必ず電気工事店へご依頼ください。
この説明書は取付工事が終わりましたら製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

営業本部 / 東京都品川区西五反田1-13-5 : 03-3492-4460 最新の連絡先はホームページhttp://www.dnlighting.co.jpをご確認ください。

安全上の注意



警告

- 取付工事やLED ランプ交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
- 器具の分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。
- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- 電源送り容量は合計5Aまでとし、器具間での電源送りによる連結使用可能灯数は、取扱説明書のご使用上の注意にしたがってください。容量オーバーした場合、火災の原因となります。
- 器具の取り付けは、器具の質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- 電源接続の際は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。接続が不完全ですと、感電、火災の原因となります。
- 器具に搭載している直流電源装置やLEDランプの部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- 器具の隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 器具を造営材などへ埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり、故障、火災の原因となります。
- 適合LEDランプ以外は使用しないでください。LEDランプの短寿命、不点灯、火災の原因となることがあります。
- アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実にこなしてください。アースが不完全ですと感電の原因となります。



注意

- 電源電圧は、AC100V±6V以内で使用してください。LEDランプの短寿命、不点灯、チラツキ、直流電源装置の故障、火災の原因となります。
- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気の上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、器具に水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(カソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 器具を被照射面に近接した位置に取り付けしないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となることがあります。
- 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 器具の温度上昇は収納部の容積や器具と周囲の造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意してください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。
- 可燃性造営材に取り付ける場合には周囲の造営材から30mm以上離して設置してください(取付面は除く)。火災の原因となることがあります。
- 器具の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障、感電、火災の原因となることがあります。
- スイッチハッチを開閉する時には、手や電線を挟んだり、傷つけないように注意して行ってください。感電、火災、故障、ケガの原因となることがあります。
- 取付穴をあけないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- LED ランプの取り付け、取り外しは、LED ランプ両端の口金付近を持ってこなしてください。また、取り付け時は、口金の黒線がソケット羽部に納まる位置まで確実にランプを差し込んでください。LED ランプの破損、落下によるケガ、故障、火災の原因となることがあります。

	完全装着状態	不完全装着状態		
装着図				
LEDランプ装着状態	正常	挿入不足	挿入不足	片側挿入
LEDランプ点灯状態	点灯	不点灯	点灯	不点灯

- 誤って落下させた器具は使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 点灯しているLEDランプを長時間直視するのはおやめください。目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- LED ランプに塗料などを塗らないでください。故障、破損、感電、火災の原因となることがあります。
- 口金のピンが曲がったり、折れたりしたLEDランプは使用しないでください。また、ピンの切断もしないでください。接触不良による過熱、発煙、落下の原因となることがあります。
- 器具を上向き以外で取り付ける場合は、ワイヤーホルダーを必ず使用してください。LEDランプ落下によるケガの原因となることがあります。
- その他、工事上の制約がありますので、器具の取り付けに際しては「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。

ご使用上の注意

- 周囲温度は 5℃~35℃の範囲で使用してください。不点灯、チラツキ、故障の原因となることがあります。
- 点灯および消灯直後にLEDランプからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を濡らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、LED ランプの光が入らないよう配慮してください。
- 器具を並列に取り付ける場合は、器具1台分の間隔以上離してください。熱干渉により光束が落ちたり、直流電源装置やLEDランプの短寿命の原因となることがあります。
- 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じたり、照明器具に若干のうなり(音)を生じる場合があります。
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときは器具から1m以上離して使用してください。
- 器具間の電源送りをする場合は、電源渡りコードDKP200(別売)を使用し、連結使用可能灯数は10灯以内としてください。
- 施工方法、使用方法によっては、電波障害が生じることがありますので次の事項を守ってください。
 - ① 器具およびその配線と通信ケーブルなどは、近接しないように施工してください。
 - ② 器具およびその配線と電子機器とをあまり近づけないようにしてください。
 - ③ 器具に接近してワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。また、赤外線リモコン機器や盗難防止センサーを近接して使用しますと機器が正常に動作しない場合があります。
- 被照射物の染料や顔料の特性によって、LEDの可視光により退色や変色する場合があります。
- 点灯直後わずかに音がすることがありますが異常ではありません。
- LED素子は、経時的に光色、明るさのバラツキが発生する場合があります。ご了承ください。
- LED素子にはバラツキがあるため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がございます。ご了承ください。
- 電源を投入しても点灯までに1~2秒かかることがあります。
- 調光器との併用はできません。
- 漏電遮断器の種類によって直流電源装置からの高周波の漏洩電流の影響により漏電遮断器が動作する場合があります。この場合には高周波対応型漏電遮断器を使用してください。
- 通電したままLEDランプを脱着しないでください。直流電源装置、LEDランプ故障の原因となることがあります。

保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置、ランプ、モジュール含む)には寿命があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による)
- ※LED光源は寿命がきても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社ホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

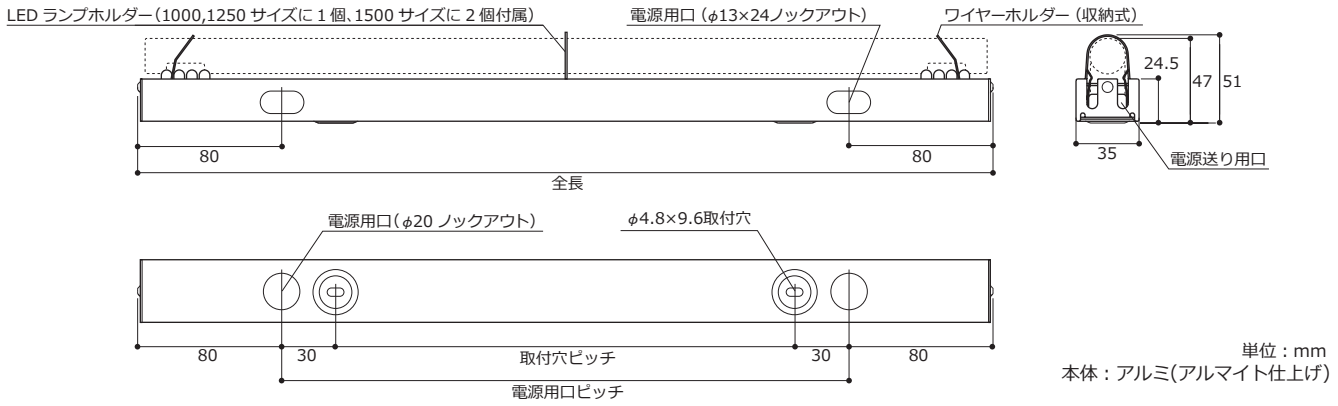
(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

定格

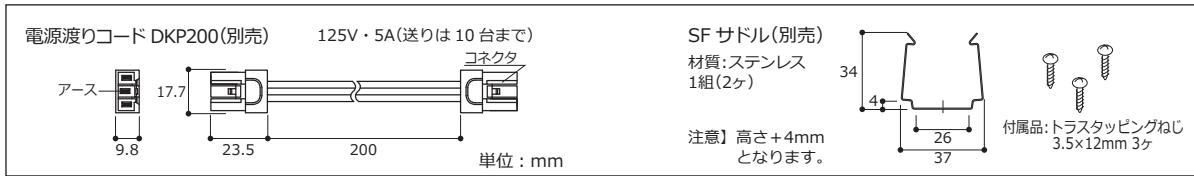
形式	適合LEDランプ	全長 (mm)	取付穴ピッチ (mm)	電源用口ピッチ (mm)	本体質量 (kg)	入力電圧 (V)	入力電流 (A)	入力電力 (W)	LED ランプ 電力 (W)
SA3-LED 500A	SLED(F)2-500	500	280	340	0.45	100	0.15	8.5	6.9
SA3-LED 850A	SLED(F)2-850	850	630	690	0.60	100	0.25	14.0	11.4
SA3-LED1000A	SLED(F)2-1000	1000	780	840	0.65	100	0.29	16.0	13.1
SA3-LED1250A	SLED(F)2-1250	1250	1030	1090	0.75	100	0.36	20.0	16.5
SA3-LED1500A	SLED(F)2-1500	1500	1280	1340	0.85	100	0.42	24.0	19.4

・周波数50/60Hz共用 ・SA3-LED Aでの電源送りは最大10灯以内としてください。

各部の名称と外形寸法



付属品: 電源穴用パッキン 1ヶ、取付ねじ(3.5×20mmトラススタッピングねじ 2ヶ)、LED ランプホルダー(500,850 サイズは無し)



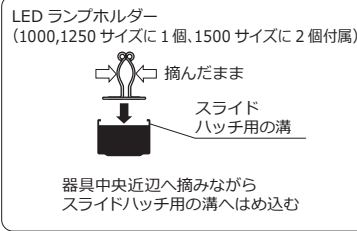
取付方法

1. 器具の取付け

器具両端のスライドハッチを開け、付属の取付ねじで固定してください。
※器具の長さに応じて取り付けられるSFサドル(別売)でも取り付けできます。
詳しくはSFサドルの説明書をご覧ください。

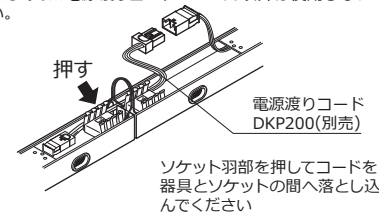
2. 電源の接続(& 渡りコードの接続)

- 器具本体の電源コネクタを切断し、VVF等の銅単線(電源線)と圧着等で結線してください。結線部分は器具内に収納してください。
- スライドハッチをカチッと音がするまで閉じてください。

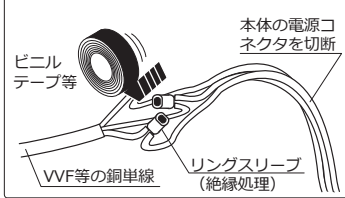


電源渡りコードの接続(電源の送り)

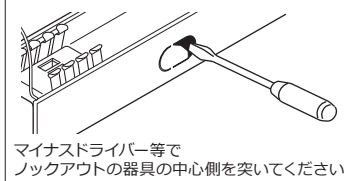
別売の電源渡りコードDKP200を使用して最大10灯まで取り付け出来ます。※電源渡りコードDKP200以外は使用しないでください。



電源の接続



器具側面ノックアウトの抜き方

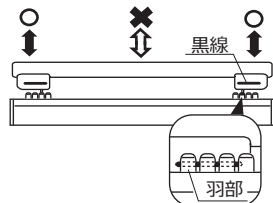


3. LEDランプの装着

- LEDランプ取り付けの際は、電源が切れていることを確認してください。

・上向き取り付け

LEDランプ両端を持ってソケットにパチッと音がするまで確実にセットし、LEDランプ口金の黒線がソケット羽部に納まっていることを確認してください。



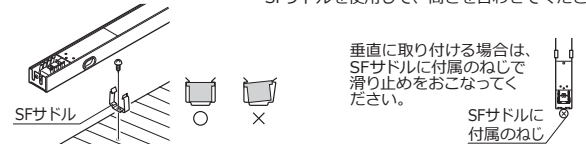
4. 電源の供給

- 全ての作業が終わりましたら電源を入れ、LEDランプが点灯することを確認してください。

注意] 電源を数秒間隔で「入り」-「切り」させた時や、電源を入れた状態でランプ交換をおこなった時には、保護回路が作動し、LEDランプが点灯しないことがあります。この様な時には、いったん電源を切り10秒以上待って、再度電源を入れてください。

※SFサドル(別売)での器具取り付け

SFサドル2個を器具の長さに応じて取り付け、器具をサドルの上から確実に固定してください。注意] 高さ+4mmとなります。接続する器具にもSFサドルを使用して、高さを合わせてください。



・上向き以外の取り付け

ワイヤーホルダーをおこし、LEDランプの両端を持ってソケットにパチッと音がするまで確実にセットし、LEDランプ口金の黒線がソケット羽部に納まっていることを確認してください。ワイヤーホルダーをソケットの一段目の溝に正しくセットしてください。



※LEDランプ取り外しの際も、必ず電源を切ってから、LEDランプ両端を持って外してください。

注意] LEDランプ中央部を持って押し込むと、確実に取り付けられない場合やLEDランプが破損する場合があります。